子育てインフォメーション

９月の子育て支援センター情報

★集いの広場（○○ルーム・○○広場）の開設
★育児不安などについての相談指導
★子育てサークルなどへの支援

市内５か所の認定こども園に子育て支援センターがあります。子育て支援センターは、地域全体で子育てを支援する基盤づくりのため、左記★のような活動を行っています。

準備の都合上、利用される方は前日まで各園へご連絡ください。また、持ち物なども各園にご確認ください。

だしっこルーム （だしのこ園内） ☎43-1025　FAX43-3256 時間 9:30～11:30	4日(水)	だしのこ園で遊ぼう！
	11日(水)	敬老の日に贈りましょう☆
	18日(水)	体を動かして遊びましょう！
	28日(土)	だしのこ園　親子運動会に参加しよう☆
わいわい広場 （神代こども園内） ☎44-2502　FAX44-2931 時間 9:30～11:30	6日(金)	身体測定・こども園で遊ぼう
	13日(金)	こども園で遊ぼう
	20日(金)	手作りおもちゃを作って遊ぼう
	27日(金)	９月生まれのお誕生会・こども園で遊ぼう
おひさまルーム （角館こども園内） ☎53-2918　FAX53-2919 時間 9:30～11:30	11日(水)	一緒に遊ぼう！※お友だちと一緒にあそぼう！
	18日(水)	お外で　あ・そ・ぼ！～おいかけっこ・砂あそびなどをしてみよう～
	25日(水)	お誕生会（8・9月生まれのお友だち）～みんなでお祝いしよう～・身体測定
なかよしひろば （にこにここども園内） ☎47-2525　FAX47-2323 時間 9:30～11:30	5日(木)	身体測定・こども園で遊ぼう！
	12日(木)	手作りおもちゃを作ってみよう
	19日(木)	好きなおもちゃを見つけて遊ぼう！・９月生まれのお誕生会
さくらんぼルーム （ひのきないこども園内） ☎48-2345　FAX48-2525 時間 9:30～11:30	4日(水)	こども園のお友だちと遊ぼう
	11日(水)	おじいちゃん・おばあちゃんへプレゼントを作ろう
	19日(木)	手作りおやつを作ろう
	28日(土)	こども園の運動会に参加しよう

９月の子育て支援施設「さくラッコ」情報

※さくラッコイベントは無料です！

子育てサポート　「はっぴい・マム」
☎080-1663-4494　角館町田町上丁 69-1（角館児童館 2F）
「さくラッコ Café」　毎週水曜日 予約不要

はっぴいルーム　予約不要
お友だち作りや情報交換の場として、毎週水・木・金曜日
10 時～ 15 時 開放
水曜日 9/4, 11, 18, 25
木曜日 9/5, 12, 19, 26
金曜日 9/6, 13, 20, 27

わくわく広場　予約 10 組
20 日(金)
10:30 ～ 11:30
「縁日」

あつまれ !0 歳 !!　予約 10 組
27 日(金)「お昼寝フォト」
10:00 ～ 12:00
0 歳児以上のお子さまも参加可能です！

すくすく成長記録 Day　予約不要
12 日(木)
10:00 ～ 11:00
月イチ、身長体重測定日！

◆問合せ 仙北市保健課　☎43-2252

こどもカレンダー　9月

◆場　所 健康管理センター（角館）

母子手帳アプリ「なないろ」では、随時情報を更新しています。ダウンロードはこちらから！→

母子健康手帳交付

前日まで電話予約が必要です。

日にち	受付時間	内容
10日(火)・24日(火)	9:30 ～	・個別面談（保健師、管理栄養士） ・母子手帳交付 ・妊婦健診受診券発行 ・応援プラン作成
2日(月)・18日(水)	13:15 ～	

---------- 母子手帳交付申請に必要なもの ----------
①妊娠届出書　②個人番号カードまたは個人番号通知カード　③本人確認できるもの（運転免許証、パスポートなど）④出産応援ギフト申請のため妊婦本人名義の口座情報が確認できるもののコピーなど

おやこで楽しむふれあい講座

（前日まで申し込みが必要です）

日にち	内容	対象者	時間
11日(水)	ベビーマッサージ・交流会	2か月後半～1歳未満	9:15～

おやこ交流広場

開放日	時間	内容
2日(月)・17日(火)・24日(火)・30日(月)	9:30 ～ 11:30	保護者とお子さんが自由に遊べるスペース。申込不要で自由参加。

※ 9/17 (火)は身体計測日です。希望のお子さんは母子手帳をご持参ください。

助産師さんの相談日

日にち	時間	内容
17日(火)	10:00 ～ 11:30	助産師さんによる妊娠中・出産・産後・育児の相談ができます。個別相談ができますので、希望者はご連絡ください。

電話相談

時間	平日 8:30 ～ 16:30	電話番号	《固定》43-2252　《携帯》080-2813-0835

※保健師・管理栄養士・看護師が対応します。

きたうら

心豊かな教育文化のまち《仙北市教育委員会だより》

第154号

秋田内陸線沿線魅力発信事業　桧木内中学校

秋田内陸縦貫鉄道は、その魅力を多くの人に知ってもらうために、YouTubeで公開するPR動画を撮影しました。撮影には沿線の小中学校が協力し、仙北市では桧木内小学校、角館・西明寺・桧木内中学校が参加しました。東京オリンピック開会式でピクトグラムパフォーマンスを披露した「GABEZ（ガベジ）」の二人と一緒に出演し、地域の魅力をPRしています。

桧木内中学校が担当したのは上桧木内駅です。全校生徒が参加しました。風船上げなどの写真を掲げ、ここにしかない魅力を発信する生徒に、GABEZのパントマイムが彩りを添えました。

「『元気・温もり・感動』を伝える」ことを学校の教育目標としている桧木内中学校。個々の撮影のあとに、全校生徒がそろって、地域の未来を笑顔で発信しました。

ヤマメ・サクラマスプロジェクト　小学生による職場体験学習

仙北市在住の小学6年生に募集し、職場体験学習を行いました。今回、協力していただいたのは㈱セレクトラ、㈱西宮組、秋田おばこ農業協同組合の3企業です。体験学習は2日間、1日目は協力企業で「働くこと」を体験し、2日目に、体験から学んだことを企業ポスターにしてまとめました。2日間を締めくくる感想発表では、門脇琉偉さん（西明寺小）は「消費者のために頑張っている人たちがいることを知った。そういう目で自分の周りを見直したい。」高橋佳菜実さん（白岩小）は「一週間前から心配や不安があったが、実際に行ったらとても楽しかった。みんなが作ったポスターには工夫がいっぱいあり、私のポスターもみんなにたくさん褒めてもらった。将来、仙北市で働いてもいいなと思いました。」と語りました。

㈱西宮組では生コン練混作業、㈱セレクトラでは腕時計電池交換、農協秋田おばこではトマト出荷作業などを体験しました。

「鳴砂」の再生に願いを込めて　田沢湖白浜クリーンアップ大作戦　生保内小学校・生保内中学校　大曲支援学校せんぼく校

生保内小学校3・5年生、生保内中学校1年生、大曲支援学校せんぼく校中学部1年生が、田沢湖白浜クリーンアップ大作戦を展開しました。昨年までも仙北市各地域の学校から参加のあった活動です。今年は好天に恵まれました。火ばさみ・レーキ・箒などの多様なアイテムが威力を発揮しました。中でも最も効力を発揮したのは軍手でした。アイテムの隙間からこぼれていく細かなゴミも、軍手をはめた手からは逃れられません。かすかなゴミも丁寧に拾われていきます。小学生がぱんぱんに膨れたゴミ袋を先生方に見せに来て「持ってみてください」と手渡しました。そのずしりとした重さは、小学生が自慢するに足りるもので、中には木屑・空き缶などの湖岸に落ちていたものがぎっしり詰まっていました。

輝きを取り戻した湖岸は、小中学生の誇りとなったに違いありません。

中学生の紺色の体育着、小学生の水色のハーフパンツが田沢湖ブルーの湖面と青空に映えます。清掃後の白砂はまぶしく輝きました。

田沢湖の不思議を探る　クリーンアップ大作戦事前学習　生保内中学校

白浜クリーンアップ大作戦を展開するにあたり、例年、参加校では事前学習会を行っています。

生保内中学校では1年生を対象に「田沢湖をざっくばらんに語る会」から千葉薫さんをお迎えして、事前学習会を行いました。国土地理院のデータや衛星からの情報など、多くのデータを解析して作成した田沢湖の過去の姿や湖水のない状態の画像などが示されました。日本最深の湖ということからすり鉢状の湖底を思い描いていたのが、実はスープ皿状の形だったり、衛星から見た田沢湖ブルーは非常に強い青色だったりと、生徒たちには驚きの連続で、最後まで興味深く説明に聞き入っていました。田沢湖の砂は洗えば鳴ると聞いた今野楓太さんは「これまで鳴砂のことはよく知らなかったが、知ることができてよかった。少しでも、昔の鳴砂に戻せるようにいろいろな活動をしていきたい」と感想を発表しました。

湖沼として鳴砂をもっているのは、日本では田沢湖だけ。他の鳴砂は海岸にあります。身近に感じていた田沢湖にも、知らないまま過ごしてきたことが多くあったようです。発見は、ふるさとへの思いを深くしていきます。